

令和6年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

町の未来を考える会

日時：令和6年8月24日(土)9:30~11:00

場所：ラディアン ミーティングルーム2

参加者：22名

新庁舎建設等による財政について

参加者	建設費の返済により、行政サービスの低下になったり、税率は増えたりしないのか。
財務課	新庁舎建設や老朽化している公共施設の改修のため、平成29年度から令和5年度までの7年間で約21億円を積み立ててきた。平均すると1年度あたり、3億円を積み立ててきたことになる。 新庁舎建設やラディアンの大規模改修などの毎年の実質借金返済額は、1.2億円程度と見込んでいる。 借金返済の財源は、これまで積立てしてきた財源を活用するので、行政サービスの低下にはならない。
政策部長	自治体の税率は法律で定められている。変えることもできるがほとんどの自治体が定められた税率を採用している。新庁舎等の建設を行うから税率が変わるということはない。
参加者	基金の積み立てにあたり、その分の行政サービスが低下し、その状態が継続されるのではないか。
町長	高齢化により役員のなり手がいなくなり、イベントを廃止するなど終了するサービスもあれば、高齢者のゴミ出し支援など時代のニーズで新たに始めるサービスもある。社会状況を見て必要なサービスを提供しているのでサービス低下はしていない。
参加者	現庁舎跡地等の固定資産はどうなるのか。
政策部長	温水プールや小児病院跡地については、民間の事業者を活用についてのサウンディング調査をしている。現庁舎については、周辺にある町民センター、武道館、正泉寺跡地と一体で、新庁舎建設予算が成立したら速やかにサウンディング調査を行い活用の方向性を検討する。
参加者	人口減による税収減が見込まれる中で、庁舎等建設により行政サービスは低下にならないのか。
財務課	今回、作成した財政見通しにおいて、町税額は、人口減少、1人あたりの町税額の上昇を見込んだ結果、微減すると見込んでいる。 国において、地方財源が不足している場合は、地方交付税が交付されるが、2027年度までは、地方の一般財源総額の同水準が確保されることが、骨太の方針で示されている。 今後も行政サービスの低下につながらないように、国の動向等も確認し、社会状況等の変化があった場合などにおいては、財政見直しを見直し、着実に進めていく。

新庁舎及び公共施設等の耐震について

参加者	町民の命を守ることと、この先町民が住み続けられることが一番大事だと思う。庁舎だけでなく地域集会施設も耐震化されていない所があるほか、民間幼稚園保育園等の一時避難所の施設の耐震については把握していないとのことで、非常に心配である。
財務課	現庁舎の老朽度を勘案して、災害時等において町民の命を守っていくためには、新庁舎建設は、最も優先順位が高いと考えている。 また、ラディアンも特定天井等は町民の安全のために必要な改修であり、放置することはできない。地域集会施設の耐震化についても地域と協議しながら進めている。
施設再編課	熊本地震や能登地震の教訓からも、役場が災害対策本部として機能することが最も重要だと考えている。
都市整備課	町の耐震改修促進計画を策定するにあたり、民間の情報なので公表はできないが、幼稚園保育園等の状況は把握している。

新庁舎建設と都市公園について

参加者	町全体の都市空間としての公園の価値について町はどう考えているのか。果樹公園は町民にとって良い空間であるので残してほしい。
施設再編課	町では、都市計画マスタープランで緑を残すところ、市街化をしていくところを定めている。花の丘公園については都市計画公園として守っていく。果樹公園は都市公園として一部残し緑を確保していく。

デジタル化推進・情報発信について

参加者	災害時に新庁舎で防災拠点として活動する際、応援に来た人はデジタル上の地図を見て直接現場に向かう時代になるのではないかと。また、X（旧ツイッター）で配信している防災・安全安心情報について、途中で情報が途切れていた。現状のデジタルツールの活用に関してどう評価しているか。
政策部長	10月からLINEを開始する準備を進めている。災害時にデジタルツールを活用することはもちろんだが、能登地震では実働部隊は応援派遣職員で、被災地の職員は采配をふるうことに注力していたことから、一刻も早く新庁舎建設が必要だと考えている。デジタルツールの活用については課題だと感じているので、今後も取り組んでいく。

新庁舎建設等の町民意見について

参加者	町民の意見をよく聴いて計画を進めてほしい。現庁舎跡地の方向性が決まっていない中で、新庁舎等の建設を進めていいのだろうか。大磯町は町長が変わってすぐに新庁舎の計画見直しや給食費無償化を進めているが、二宮町はどうなのか。
町長	庁舎の議論は、8年近く前から町民の意見を聞きながら進めている。新庁舎の場所を果樹公園に変更したのも議会を含め町民の意見を踏まえてのことである。現庁舎跡地の方向性も決めるべきと考えているが、新庁舎の実施設設計と工事の予算が議会承認前であるにもかかわらず、その先のことをお示しすることはできない。給食費無償化については中学校ではすでに始めている。

移動町長室の議員の参加等について

参加者	今年実施した5回の移動町長室の中で各回町民が何人、議員が何人出席したのか。
地域政策課	今後町のホームページに開催結果を出す予定である。人数は、 7/6 町立体育館 町民17名+地区長4名 7/7 ラディアン 町民22名+地区長4名 7/7 二宮小学校 町民8名+地区長4名 7/20 一色防災コミュニティセンター 町民31名+地区長2名 7/28 百合が丘児童館 町民24名+地区長3名 5回で115人である。 議員は毎回2人~3人出席していた。
参加者	百合が丘1丁目と中里の境にある公園と空き地の草が繁茂しており、防草シートを敷いた。以前は草刈していた。これはサービス低下だと思う。 議員にもこういう場に参加し、町民の声を聞いて欲しい。
都市整備課	百合が丘1丁目の空き地については、地区との協議の結果、防草シートで対応することにした。

新庁舎の災害対策について

参加者	震災により万が一新庁舎が機能しなくなった場合、どこに災害対策本部を立ち上げ町民を守るのか。
町長	1000年に一度の災害を想定して新庁舎を建設するので、機能しなくなるということは想定していない。現庁舎については、消防庁舎に災害対策本部を置くことを考えている。
参加者	想定以上の災害が来たとき、本当に大丈夫と言えるのか。子どもに対して、大丈夫と言って大丈夫でなかったときにどう説明すればいいのか。
町長	ハザードマップは見直しが見直され、想定外のハードルを高くして更新されており、それに基づいた新庁舎計画であるので大丈夫である。

果樹公園内の天然記念物について

参加者	天然記念物（果樹原木）は新庁舎等の建物に囲まれ風通しが悪くなると思う。天然記念物の管理を行っている神奈川県に打診したのか。
施設再編課	管理をしている県の農業技術センターと管理方法について協議しており、問題ないと言われている。

今後の公共施設計画等について

参加者	（仮称）福祉会館には社会福祉協議会が入るほか、通いの場やがん検診などを行うとあるが、保健センター機能は庁舎に移るので、そこに社会福祉協議会が入れば良いし、通いの場やがん検診はラディアン等を活用すれば、福祉会館を建設する必要はない。既存の施設を有効活用し、不要な建設で無駄使いはせずに、健全な運営をしてもらいたい。 「公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」では、武道館は吾妻山の擁壁の機能があるので解体は難しいとある。維持していくのにどうやって民間にサウンディング調査をして活用していこうと考えているのか。
施設再編課	行政機能の集約というのが大きなコンセプトのため、保健センター機能も庁舎に集約することにし、がん検診や通いの場についても町民の利便性の面から福祉会館を建てることとした。

	<p>武道館については、土留めの機能もあり構造上解体は難しいが、土地利用はしていくべきであり、現庁舎周辺の山間地を活かした土地利用について、民間の技術力・アイデアを活用しながら、利活用の検討を進めていく。</p>
町長	<p>都市計画を変えなければならないことでそう簡単な話ではないことは承知している。時間をかけて検討する必要がある。</p>

参加者	<p>人口が減り、少子高齢化が進むことが想定される中、新しい建物が立て続けに建設されるというのはインパクトが大きい。その後二宮町がどうなるのかが見えづらい。子どもが減っていく中で学校はどうなるんだろうとか全体が見えづらい。全体の話がない中で、庁舎の話も学校の話も突然出てきて、町はこれからどうなるのというのが見えづらく不安を感じる。ひとつひとつではなく、全体像を見せて欲しい。</p>
町長	<p>計画的でないという意見もあるが、各地で震災が起こる中で、優先順位を付けて進めてきた。新庁舎はこれからも色々な媒体で説明を続ける。全体計画の話や学校のことなどについても今後意見交換をしていきたいと考えている。</p>